

科研費電子申請システムより入力（前半部分）

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
14701				

令和X（20XX）年度 基盤研究（C）（一般）研究計画調書

令和XX年XX月XX日
X版

新規

研究種目	基盤研究(C)	応募区分	一般
小区分	哲学および倫理学関連		
研究代表者 氏名	(フリガナ)	ワダイ タロウ	
	(漢字等)	和大 太郎	
所属研究機関	和歌山大学		
部 局	〇〇学部		
職	教授		
研究課題名	〇〇の□□に関する研究		
研究経費 千円未満の 端数は切り 捨てる	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)
			設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他
	令和X年度		
	令和X年度		
	令和X年度		
	令和X年度		
	総計		
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する		
研究計画最終年度前年度応募	--		

研究経費の明細欄のとおり金額が反映されているか確認してください。
(金額は千円単位です。)

「希望する」を選択してください。

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職	学位 役割分担	令和X年度 研究経費 （千円）	エフオー ト（%）
研究代表者	12345678 (50) ワダイ タロウ 和大 太郎	和歌山大学 〇〇学部 教授	博士（〇〇学） 〇〇の調査及び□□		
研究分担者	11112222 (48) アラカワ モモコ 荒川 桃子	□□大学 〇〇学部 教授	博士（〇〇学） 〇〇の分析		
			「代表」「分担」等ではなく、研究実施計画に対する分担事項を中心に、どのように協力して研究を行うのか、入力してください。		
合計	名		研究経費合計		

1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査される。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領参照）を参考にすること。

本研究の目的と方法などについて、4頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

（概要）

- ・ ファイルの容量は5MB未満にしてください。
- ・ 余白の設定は変更しないでください。
- ・ フォントのサイズは11ポイント以上（英語の場合は10ポイント以上）にしてください。
- ・ 各項目の指示に沿って作成をした結果、空白の頁が生じても構いませんが、その場合、空白の頁を削除しないでください。

（本文）

本欄には、今回応募する研究計画において何をしようとしているのか、本文と概要でその全体像を明らかにします。

概要については、10行程度で記述してください。

本文には、

- (1) 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」
- (2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性
- (3) 本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ
- (4) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか
- (5) 本研究の目的を達成するための準備状況

について、具体的かつ明確に記述してください。

また、上記の概要も含め、4頁以内で記述してください。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

2 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合には必要に応じてその内容を含めること。また、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため
(1) これまでの研究活動
(2) 研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）
について、2頁以内で記述してください。

「(1)これまでの研究活動」は、本研究計画の実行可能性を示すよう、本研究計画に関連した研究活動を中心に記述します。研究分担者がいる場合には、その想定される役割に関連した研究活動を中心に記述します。

記述に当たっては、研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載してください。

研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、などとなります。

論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。

産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得など、研究活動を中断していた期間がある場合は、その事情を本欄に記述しても結構です。

【2 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述してください。

なお、該当しない場合には、「該当なし」と記述してください。

4 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述すること（公募要領参照））

本研究の研究代表者が行っている、令和6（2024）年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内で記述すること。
 該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			令和 年 度～令和 6年度

当初研究計画及び研究成果

本研究の研究代表者が行っている、令和5年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内（各項目については10行程度）で記述してください。

なお、該当しない場合は、空欄のまま提出してください。

前年度応募する理由

研究経費とその必要性

年度	設備備品費の明細					消耗品費の明細	
	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額	事項	金額
原則、10万円以上の物品は設備備品費で、10万円未満の物品は消耗品費となります。 【例外】 ・ソフトウェア（買い切り）・・・消耗品費 ・10万円以上でも1年未満に消耗する物品・・・消耗品費 ・図書・・・消耗品費							

設備備品費、消耗品費の必要性

必要性・積算根拠を記入してください。
 「設備備品費」がいずれかの年度で研究経費の90%を超える場合及び「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合、研究遂行上の必要性についても併せて記入してください。
 また、上記で記入した「設備備品費の明細」及び「消耗品費の明細」と整合性がとれているか確認してください。

年度	国内旅費の明細		外国旅費の明細		人件費・謝金の明細		その他の明細	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
<p>【国内旅費・外国旅費】 研究代表者、研究分担者、研究協力者の海外・国内出張のための経費（交通費、宿泊費、日当）等をその事項ごとに記入してください。 （できるだけ行き先や日数を具体的に記載してください。）</p> <p>【人件費・謝金】 資料整理、アンケートの配布・回収などを行う研究協力者に係る謝金等をその事項ごとに記入してください。 例：資料整理（内訳：○人×○月・○○千円）</p> <p>【その他の明細】 設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費を記入してください。 例：印刷業、通信費（切手、電話等）、運搬費、学会参加費、翻訳・英訳校閲（業者へ委託する場合）、Zoom有料アカウント、ソフトウェアのライセンス料 など</p>								

旅費、人件費・謝金、その他の必要性

必要性・積算根拠を記入してください。
 いずれかの年度で、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの費目が全体の研究経費の90%を超える場合及び「その他」で特に大きな割合を占める経費がある場合、研究遂行上の必要性についても併せて記入してください。
 また、上記で記入した「国内旅費の明細」「外国旅費の明細」「人件費・謝金の明細」「その他の明細」と整合性がとれているか確認してください。

※本欄はPDFファイルには出力されません。

JSPS 科研費電子申請システム

応募情報参照 (研究費の応募・受入等の状況) Japanese / English

令和X(20XX)年度 XXXXXXXXXX 研究計画書

【研究費の応募・受入等の状況】

- 「役割」、「研究経費」、「エフォート」のリンクをクリックすることで、応募中の研究費または受入予定の研究費の一覧を指定したソート順に並び替えることができます。

研究代表者氏名	代表 一部
研究期間	20XX年度～20XX年度
研究課題名	〇〇〇〇〇〇についての研究

(1) 応募中の研究費

役割	1.資金制度・研究者名(配分権限名) 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	20XX年度 研究経費 (期間全体額) (千円)	20XX年度 エフォート (%)	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 (左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職) (所属組織・役職)の受入額を記入すること
代表	1.【本応募研究課題】XXXXXXXXXX 2.20XX年度～20XX年度 3.〇〇〇〇〇〇についての研究 4.代表 一部	9,999,999 (9,999,999)	XX%	例：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。 △△△△△△△△△△の点で異なる。 応募：和歌山大学・教授
分担	1.基礎研究(S) 2.20XX年度～20XX年度 3.〇〇〇〇〇〇についての研究 4.代表 一部	9,999,999 (9,999,999)	XX%	例：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。 △△△△△△△△△△の点で異なる。 受入：和歌山大学・教授

(2) 受入

役割	1.資金制度・研究者名(配分権限名) 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	20XX年度 研究経費 (期間全体額) (千円)	20XX年度 エフォート (%)	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 (左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職) (所属組織・役職)の受入額を記入すること
代表	1.基礎研究(S) 2.20XX年度～20XX年度 3.〇〇〇〇〇〇についての研究 4.	(9,999,999)		例：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。 △△△△△△△△△△の点で異なる。 受入：和歌山大学・教授
分担	1.基礎研究(S) 2.20XX年度～20XX年度 3.〇〇〇〇〇〇についての研究 4.代表 一部	9,999,999 (9,999,999)	XX%	例：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。 △△△△△△△△△△の点で異なる。 受入：和歌山大学・教授

(3) その他の活動 XX%

(1)、(2)、(3)のエフォートの合計 100%

閉じる

分担者がいる場合、額が異なります。

分担者がいる場合、分担者分を引いた額を記入してください。

左記の研究課題を応募・受入れるに当たっての所属組織・役職を記載します。(通常は、「応募：和歌山大学・教授」のような記載となります。クロスアポイントメント制度適用者は、実際の応募機関に合わせて「応募：●●●大学・教授」又は「受入：●●●大学・教授」のような記載となります。)

(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動でエフォートが100%になっているか確認してください。

科研費以外にも国内外を問わず、競争的研究費のほか民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費、和歌山大学内で競争的に配分される研究費(独創的研究支援プロジェクト等)についても記載してください。